

みんなで作るまち みんなで考える「広報紙」 広報しみず ゆう・える

2021

2

Shimizu

特集

清水高校のススメ

生徒が自ら取材、「伝えたい」清水高校の魅力！

特集をコラボ！
清水高校
× 清水町

ゆう・える 発表・NONO年スクリューデザインズ...



清水高校のススメ!

全力で進む! 夢を追う清高生

清水高校では、アイスホッケー部やパン甲子園で3連覇した生産技術系列等のほかにも、将来に夢を持って頑張っている生徒がたくさんいます。そんな生徒たちをここで紹介!

2~5ページは清水高校生が記事を作成!

広報係が編集をしました!



総合的な「学習の時間」と「探究の時間」

自分で考え自分で学ぼう なりたい自分に近づける!

「総合的な学習の時間」で自分の持っている力を育てる

3年生で行われる「総合的な学習の時間」は、自ら課題を見付け、自ら学び考え、主体的に判断し、問題を解決する資質や能力を育成することを目的とした学習の時間です。

そこで学び方やものの考え方を身に付け、探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組み、自己のあり方や生き方を考える意識を持つようになります。

この学習の時間は、毎週火曜日の5・6時間目に設定されています。

今の3年生が2年生の時には、主にインターンシップや修学旅行についての活動でしたが、今年度は、生徒それぞれの進路に向けた活動のほか、町のことを知るための「地域研究」、自分の興味のあることをもっと深める「課題研究」にも取り組みました。



グループで話し合いながら課題解決を目指します。

興味あることをさらに深める「課題研究」

「課題研究」とは、自分の興味のあることについて、知識や情報をもっと深めていくために、自分から課題を見つけ研究していく時間です。

例えば、野球に興味がある人であれば、「投げたら投げる球のスピードをあげられるか」という課題を作り、実際に自分で練習方法を考えて実践し、その結果どう変化したのか、どういふことをすれば良いのかなどをまとめ、研究したことを発表するという取り組みをしています。



社会人としてのマナーや協調性を身につけることができました!

自動車整備士を目指している
中村 和真 さん
(生産技術系列 3年)

「総合的な学習の時間」を通して、社会人としてのマナーなど必要なことを身につけることができました。また、今まであまり関わりのなかった人たちとも活動することが増えたので、協調性も学ぶことができました。

僕は自動車整備士を目指しています。この仕事ではたくさんの人と関わることになると思うので、清水高校で学んだことを活かして頑張りたいと思います。

「探究の時間」で自立性を身に付ける!

2年生では「総合的な探究の時間」を行っています。

3年生の「総合的な学習の時間」は教科の枠を超えた総合的・横断的な学習を通して知識や技能を習得し、自己のあり方や生き方を学んでいくものですが、これに対して「総合的な探究の時間」は、自己のあり方や生き方と不可分な課題を見つけ、探究活動を行う時間とされています。

つまり、キャリア形成などの将来の目標を意識しながら課題を見つけ、探究的な学習を行うことになり、生徒には自立性が要求されます。

今年度は、エスティー・エスティー・エスティーというグローバルな目標を題材に、生徒が自分たちで課題の内容を決め活動しました。



清水高校のホームページでも私たちの活動を紹介しています!

美容師になりたい!

こいずみ 小泉 里和果 さん
(自然科学系列 3年)

私は美容師という仕事を通して、お客さんも、私自身も綺麗にしたいと思っています。専門学校進学後も周囲の人たちに負けずに高い技術を身につけるため、今から活動中です。その人に合う髪型や好きな髪のアレンジなどを日々研究しています。夢は美容師の技術コンテストでの優勝など、日本一のカット技術を身につけて有名になることです。皆さん、期待してくださいね!

システムエンジニアになりたい

ささき てるゆき 笹木 照幸 さん
(生産技術系列 3年)

清水高校では生産技術系列産業分野を選択して、活動の幅を広げるため、お掃除ロボットを開発しています。自分は将来、システムエンジニアになってパソコンやスマホの新しいアプリをつくれるような技術者を目指しています!

歯科技工士になりたい

さとう ももか 佐藤 桃華 さん
(人文科学系列 3年)

私は歯科技工士を目指しています。今は歯の模型をペットボトルや段ボールで作り、みんなに虫歯になりやすい点をポスターなどで知らせるといふ調べ学習をしています。歯科技工士になったら、技術はもちろん、患者に寄り添える人になりたいと思います。

看護師になりたい!

あさの まなみ 浅野 愛実 さん
(自然科学系列 3年)

私は看護師になって患者と患者の家族に寄り添える人になりたいです。現在、感染症や臓器提供、地域医療のエキスパートになるためグループ討論を行い、理解度をアップさせるために活動しています。夢を叶えられるよう頑張りたいと思います。

ウェブデザイナーになりたい

こはたけんたろう 木幡賢太郎さん
(人文科学系列 3年)

自分の将来の夢はウェブデザイナーになることです。今研究していることはアクションゲームのデザイン。きっかけは、担任の先生からゲームを作ってみないかという話があったからです。卒業まで残り少ない学校生活を全力で楽しみたいと思っています。

まちづくりりに参画 議会で政策提案

模擬議会で3年生12名が一般質問を体験！

昨年10月、清水町議会の協力により、清水高校生による模擬議会が実施されました。私たち生徒が議会に参加することは初めての試みです。私たちは模擬議会に向け、6月から取材活動を開始、町議員の助言などをもらいながら、一般質問の準備を進め、同議会当日は、清水町をより良くしたいの思いから、活発な議論を行いました。



→9月の模擬議会のリハーサルでは、全体の時間配分など議会の流れを確認。また、議員の皆さんと一緒に再質問を考えるなど、準備を行いました。



模擬議会は地域研究の一環として町議会の協力のもと実現。同議会に向けて、7月に役場や商工会、JA十勝清水町で取材活動を実施、本町の施策や政策課題等の実態を知りました。町子育て支援課を取材した大山凌芽さんは「町の子育て支援はとても手厚いことがわかった。今後はどのような方法で町民に知ってもらおうかが課題だ」と考えたそうです。8月には町議会議員と一緒に勉強会を実施。まず生徒が考案した、議会の仕組みや議員の権利などを問題にした議会クイズを議員と一緒に取り組み

議会について理解した後、議場で一般質問している様子を動画で視聴しました。9月には、実際に行われている議会定例会を傍聴席で見学。また、模擬議会に向けてリハーサルを行い、本質問と再質問の流れを確認、再質問の内容を議員と検討したほか、一般質問でのコツを丁寧にアドバイスしてもらいました。当日、阿部町長や櫻井議長らの姿が議場に現れると、緊張感は最高潮に達しましたが、議会が始まると全員の目つきが変わり、真剣な表情に。4班に分かれ一般質問をしてい

く中で「駅前旅館跡の活用」については、「町民の意見を聴きながら取り組んでいきたい」との回答がありました。今回の模擬議会を通し、この約4カ月間、清水町についてじっくり考え、政治・経済の難しさと奥深さを学ぶことができました。商店街の活性化策など現状、町に足りない施策が多々あることを知りましたが、同時に金銭的な問題を含め様々な課題があることもわかり、私たち高校生も、町のため、これから政治に興味を持つ必要があると強く感じました。

模擬議会でこんな提案をしました！

- 1班【若者が集まる町にするために必要な施策】
 - ・清水町体育館にスケートボードパークを併設する提案
- 2班【子育て世帯が喜ぶ町にするための施策】
 - ・清水町の取り組みのPR方法と屋内遊技場の設置の提案
- 3班【清水町をPRするイベントの施策】
 - ・道の駅の設定と新たなイベントの提案
- 4班【駅前の活性化対策】
 - ・商店街の空き家の活用の提案

参加者にインタビュー！

沼田 陸 さん

模擬議会を通じて自分の意見を伝えることができた。これからは地域のために頑張っている人たちをサポートしたいと思う。私たちは18歳となり選挙権を持つが、今回学んだことを活かして一票を投じていきたい。

根本 怜汰 さん

事前の商工会での取材を通じて、清水町は交流人口を増やすことが課題だと感じた。模擬議会当日は、リラックスして臨むことができた。貴重な体験だったので、今後の将来に役立てていきたい。

私たちの未来を 探究する学習

2年生がSDGsへの理解を深める！

テーマ 「安全な水とトイレを世界中に」



清水小6年生にバスポムづくりをわかりやすく説明。

「安全な水とトイレを世界中に」をテーマに、清水小学校で、手洗い指導とバスポム（入浴剤）づくりを行いました。子どもたちに手を洗うことの大切さや、水質汚濁を減らすためにはどうしたら良いかということに興味、関心を持ってもらいたいとの思いから実施に至りました。手洗い指導を通して、自分たち自身の意識も高まり、今では率先して手を洗うようになりました。皆さんも綺麗な水が飲めたり、トイレが使えることを当たり前だと思わずに感謝して使ってほしいと思います。

2年生の「総合的な探究の時間」では、SDGsを題材に授業を実施。班に別れ、それぞれSDGsの目標の中からテーマを選んで学習し、理解を深めました。ここでは、その中から3班の成果発表について紹介します。



Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称で、17の目標と169のターゲットからなる世界で達成すべき目標のことです。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193カ国が2016年から2030年の15年間で達成することを掲げています。その内容は、貧困の解決・教育などの社会目標、気候変動・エネルギー・生物多様性などの環境目標、雇用・インフラ・生産などの経済目標に加え、不平等の解決・ジェンダーの平等・平和等があげられています。

テーマ 「飢餓をゼロに」



生徒手づくりの紙芝居を園児たちに見せました。

「飢餓をゼロに」というテーマで、給食センターの残飯・残菜の量を調べたところ、日によってばらつきがあることがわかりました。これは子どもたちの好き嫌いに関係があると考え、幼稚園での紙芝居を提案。内容は、「食べ物を残した男の子がゴミ箱のお化けに襲われる」というストーリーで、食の大切さと廃棄の問題について園児にも理解できるように工夫しました。食生活を見直す機会になり、世界中にはたくさん人の飢餓で苦しむ人々が存在していることを再確認し、私たちにできることは何かを考え、行動することが大切だということに気づきました。

テーマ 「貧困をなくそう」「住み続けられるまちづくりを」



1 貧困をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを

「貧困をなくそう」及び「住み続けられるまちづくりを」というテーマで、校内でフリーマーケットを開催しました。まだ使える物が大量に捨てられることに注目し、「自分には使わないがまだ使えるもの」を生徒から集め、フリーマーケットで売り、余ったものは貧困環境に住む子どもたちに寄付することに。全フランスから文房具や衣類本などが集まり、11人が計34品を購入、合計3790円を売り上げることができ、全額募金しました。この活動を全国規模で実施できれば、多くの人にSDGsを知ってもらえるのではないかと実感しました。

完成までの道のりを紹介!



総合的な学習の時間で持ち上がった企画 清水高校生による『広報紙特集の作成』

昨年、3年生の総合的な学習の時間「地域研究」の一環として、企画課広報係が講師を担当する(こと)」。担当の小林先生と事前打ち合わせ中に「講演するだけではなく、実際に清水高校の活動や魅力を伝える記事を高校生の目線でつくってもらうのはどうか。」との話から、今回の特集企画に至りました。

10月に行った授業では、広報・広聴の仕事について講演した後、広報紙を作成する上での取材の仕方や記事の作成、写真撮影のポイントなどを説明。生徒の皆さんは熱心に耳を傾けてくれました。

合計9時間の授業のなかで取材活動や記事の作成、レイアウト作業に取り組み

生徒12人が4班に分かれ、1ページずつ担当し作成することに決定。まず何を取材するか、どのようなページ構成にするかを話し合い、役割分担を決めていました。

全9時間授業枠のなかで、取材の申し込みから始まり、取材活動や写真撮影、記事作成に真剣に取り組んでいました。行き詰まったときには、生徒同士で相談しあったり、先生からアドバイスをもらうなどの姿が見られ、試行錯誤しながら取り組んでいた様子でした。



↑取材の写真撮影では被写体の表情や光の角度などを考慮しながら何度も撮影していました。←慣れないレイアウト作業に苦労していたり、文章の書きかたについて、小林先生から助言をもらう姿が見られました。



広報紙作成を通じて感じたことや達成感を今後活かしてほしい

生徒からの感想では主に「取材したことや調べたことをわかりやすく文章にすることの難しさ」「締め切りがあるため限られた時間で作業の大変さ」等があげられていました。また、「自分たちが苦労して作成した記事を多くの人に読んでもらえることは貴重な体験」との感想も。広報紙として形となったことで、生徒の皆さんに達成感を味わってもらったのではないかと感じています。今回の経験を今後の生活の中でも活かしてもらえればと思います。

担当の小林哲也先生からコメント

『未来を担う人材の育成を目指した地域研究』

今回の「地域研究」は、これからの未来を担う貴重な人材の高校生たちに、自分の住む町に興味を持ち、課題を解決しようとする姿勢を育むことを目的に行いました。

町を支える様々な立場の人と出会い、話を伺い、自分の考えを発表する取り組みを通して、目的は達成されたと思います。

本研究に対して、ご支援とご協力をいただいた地域の皆様にお礼申し上げます。

広報紙作成では、主に「伝え方」について考えてもらえるようにしました。

若い皆さんが使う言葉はどんどん短くなり、SNSなどで一方的に発信した情報が「伝わった」と勘違いすることがよく見受けられます。今回の経験を通して、人に伝えることの難しさと裏に隠れた様々な工夫を、生徒たちは感じ取ってくれたと思っています。



広報紙作成から学んだこと、発見したこと!

- いろいろな人に取材をしたり、わからないことを調べて、誰が読んでも理解できる記事をつくるが大変だった。
- 文章で伝えることの難しさを学んだ。
- 写真撮影で、逆光に注意しながら自然な表情をいかに撮影できるかが難しかった。
- たくさんの取材が必要だということを知った。
- 記事を作成することは、多くの時間とたくさんの労力がいることを知った。

特集 清水高校のススメ

特集記事を手がけた12名のイケメンたちに聴きました! 清水高校の魅力とは?



特技はスケートボードとアイスホッケー!

人文科学系列 3年
いからし ゆいと
五十嵐 唯翔さん
皆違う目標に向けて取り組み、生徒同士で教え合えるところ。それと元気がいい!



好きなスポーツはバドミントン!

人文科学系列 3年
おおやま りょうが
大山 凌芽さん
国公立大学進学等を目指す人に、進路チャレンジクラスが設立されていること。



ボクシングとアイスホッケーが好きです!

人文科学系列 3年
ねもと れんた
根本 怜汰さん
自分の学びたい授業が選べるところ!



アイスホッケー、ロードバイクが特技です!

人文科学系列 3年
ぬまた りく
沼田 陸さん
様々な夢を持っている生徒がいて、多方面から刺激をたくさんもらえること。



趣味はプラモデルをつくること!

人文科学系列 3年
くどう しょうま
工藤 奨摩さん
総合学科なので、自分の興味のあることにどんどん挑戦できる!



バスケットとアイスホッケーが好きです!

人文科学系列 3年
くぼの しょうえい
久保 瑛晶さん
生徒同士が協力し合って助け合いながら行事などに取り組んでいるところ。



好きなことはサッカーと漫画を読むこと!

人文科学系列 3年
おの とおや
小野 翔生弥さん
生徒それぞれが目指す進路に合った時間割を組むことができること。



特技はアクロバットです!

生産技術系列 3年
すずき りょうめい
鈴木 良明さん
総合学科なので将来の夢がまだ決まっていない人にとってすごく入りやすい高校です!



アイスホッケー部で鍛えています!

人文科学系列 3年
ちやき ゆうた
茶木 優汰さん
5つの系列があり、様々な分野で関わっている生徒から刺激をもらえる!



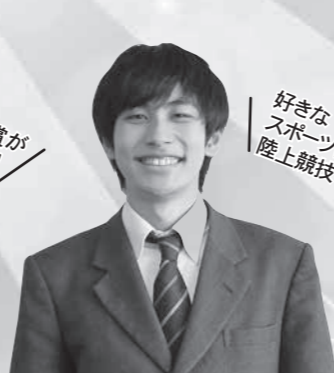
得意なスポーツは野球です!

自然科学系列 3年
わかばら そうた
若原 颯汰さん
総合学科なので、自分が学びたい好きな系列を1つ入れて授業を受けられること。



音楽鑑賞が趣味です!

人文科学系列 3年
さいとう こうだい
齊藤 皓大さん
先生方のサポートも手厚く、進路を実現させるため魅力的な環境が整っていること。



好きなスポーツは陸上競技!

生産技術系列 3年
かみや つばさ
神谷 翼さん
自分の目指していることに向けて、専門的、実践的な授業で学べるところ。

清水町役場職員の新型コロナウイルス感染症 集団感染の発生に対する**検 証**について

昨年発生した役場職員の新型コロナウイルス感染症集団感染について、先月1月号では町民の皆様からいただいた意見や質問に回答させていただきました。今月号では、各所属課長を通じて行った職員への聞き取りや産業医の意見を踏まえた検証結果についてご報告いたします。

集団感染が 発生する以前の 役場庁舎の感染予防対策

役場庁舎における予防対策として、産業医の助言をいただきながら、各課の受付窓口に消毒液及びパネルの設置、トイレでのジェットタオルの使用中止、定期的な換気を行っていました。

職員に対しては、マスクの着用と手指消毒、咳エチケットの励行を周知し、また、不要不急の外出を控えるとともに、飲食については、適切な感染防止を行っている飲食店を利用することもあわせて周知していました。

組織としての 危機管理に対する 認識の甘さと 対策の徹底不足

これまで行っていた予防対策については、組織としての危機管理に対する認識が甘く、徹底した対策が取られていなかったと考えるいます。
具体的には次の点があげられます。

■マスクの着用、手指消毒、咳エチケットを励行していたが、職員に5月28日付で周知して以来、通知等をしておらず、適正でないマスクの着用や未着用も一部みられたとともに、手指消毒・換気の徹底不足などがあったこと。

■飲食に関しても人数制限などの明確な指示がなく、近い距離で昼食を共にしている場面がみられたこと。

■職員の体調管理においても、健康観察の具体的な指示がなく、体調不良の際の対応が徹底されていなかったこと。

■感染者が多く確認されている地域との往来について、必要な出張であったとしても、出張する人数や帰町後の体調管理について明確な取り決めがなく、個人の判断に任せていたこと。

■職員の机間にパネルがなく飛沫の拡散を防止できていなかった。また、パソコンや電話機など職員が共用する機器の消毒が徹底されていなく、消毒に必要なペーパータオルなども十分に準備していなかったこと。

危機管理意識の統一や 施設整備など 今後の4つの対策

今後、集団感染を発生させないため、次の対策について取り組む必要があると考えます。

① 危機管理意識の統一と 取り組みの徹底

■職員の危機管理意識の統一を図り、マスク着用や手指消毒を徹底すること。

■会食時における人数制限や他地域との往来等に係る行動ルールの明確化を図ること。

■健康観察記録を作成し体調不良の際の対応基準が必要であること。

■町民等と接する際の対応マニュアルが必要であること。

■職員間における感染者情報を含めた情報共有のあり方を検討する必要があること。

② 施設整備への対策

■入退庁時に来庁者も含めて検温ができる機器の導入。



飛沫感染防止策として職員の机正面にパネルを設置



公共施設入口に自動検温機を設置



トイレの洗面台に蛇口用消毒液を配置



対策本部会議は定期的に開かれ感染予防などの協議が行われている

③ 職場での密集対策

■室内の湿度や換気の管理体制の検討。

■トイレの照明及び蛇口のセンサー化など共用スペースの感染対策の強化。

■消毒薬やペーパータオル、ウェットティッシュなどの用品の確保。

■年次有給休暇の取得促進を含めて勤務体制の検討。

■テレワーク・リモートワークの導入の検討。

④ 業務継続への対策

■必須となる業務の再検討。

■対応業務のマニュアル化。

■人事異動などにより業務を担える人材の育成。

■感染又は感染の疑いがある職員が確認された際の公共施設等の対応方針の策定。

発生要因の特定は 困難ではあるが 感染予防対策の徹底不足により ウイルスが蔓延したと推測

今回の集団感染の発生要因を特定することは、困難であると考えられております。

新型コロナウイルスの潜伏期間は2週間ありますが、感染力が強いと考えられる1週間の11月上旬からの状況では、陽性者同士の職場としての会食は確認されていないため、前述のとおり、感染予防対策の徹底不足から、職員同士の日常業務における会話、共用する機器などの接触を通じて、何らかにより持ち込まれたウイルスが蔓延し、感染が拡大したものと推測されます。



パソコンなど職員が共用する機器での接触感染があったのではないかと推測

今回の事象を教訓とし 徹底した 感染予防対策に努めながら 検討課題へ取り組む

昨年、清水町役場において、新型コロナウイルス感染症の集団感染を発生させたことは、多くの町民及び関係する企業、職員に関係する皆様に多大なる影響を与えたことは、大いに反省しております。

この検証は、各所属課長を通じて職員から意見集約したものです。未だ新型コロナウイルスへの感染収束が見通せない中、二度と集団感染を発生させないためにも、徹底した手指消毒などの感染予防対策を行い、清水町役場全体の統一した取り組みとして、検討課題に対しスピード感をもって取り組んでいきます。

また、町民の皆様に対する情報提供についても、個人情報保護の観点から踏まえながら、適正に行ってまいります。
最後に、新型コロナウイルスに感染したことに伴う不当な偏見や差別がないように、職場として今後も取り組んでまいります。

※広報レターで寄せられた
意見要望等のご紹介です。

! 町内福祉施設のパンフレットの作成について

町内福祉施設のパンフレットを以前もらいました。が、理解しづらかったので、わかりやすくしてもらえないでしょうか？

(70歳代男性)

A

現在、介護サービスのご利用を検討されている皆様のために、町内福祉施設のサービス内容、対象者、連絡先を掲載したガイドブックを作成しています。

料金体系等については、諸条件により様々のため、掲載は難しいと思いますが、定員等、掲載可能な範囲で内容を充足させていただきます。

各施設の詳細についてはご相談いただければ対応いたします。

(保健福祉課)



! 亜硝酸性窒素検出に伴う上水道整備などについて

町内の井戸水から亜硝酸性窒素が検出されたことにより、上水道整備の計画、井戸掘削の費用助成、浄水器補助についての考えを伺います。

(30歳代女性)

A

本町の未給水区域の水道整備範囲は広く、町の費用負担だけでなく国や道の一部負担により計画することが必要であり、引き続き関係機関と協議してまいります。

井戸掘削の費用については、各自での負担をお願いしたいと考えております。

なお、使用水が水質基準に適合しない場合は、町の浄水器設置補助制度を活用していただき生活用水の確保をお願いしております。

地下水から亜硝酸性窒素が検出された要因は、北海道と連携し調査を進めたいと思います。

(水道課)

詳しくは保健福祉課
福祉係まで ☎69-2222

福祉のひろば

補装具について

補装具とは、障がいをお持ちの人や児童が、日常生活の中で必要な移動等の確保、就労場面の能率の向上を図ることや、社会人として自立自活するための素地の育成助長を目的として、失われた身体機能を補完・代替する装具のことです。

◆補装具費支給制度

この制度は、障がいをお持ちの人が、補装具を公費負担で購入・修理・借受し、負担を軽減することで、福祉の増進に資することを目的とする制度です。

◆制度の対象となる人

補装具を必要とする身体障がい者・児、難病患者
障がい者と障がい児では支給できる種類が異なります。

※原則、使用できる補装具は1種類につき1個です。ただし、職業又は教育上など、特に使い分けが必要と認められた場合は2個使用することができます。

◆補装具の種類

- ・ 肢体不自由者
- ・ 義肢、装具、座位保持装置、車椅子、電動車椅子、歩行器、歩行補助つえ

◆視覚障がい者

視覚障害者安全つえ、義眼、眼鏡

◆聴覚障がい者

補聴器

◆音声・言語機能障がい者

重度障害者用意思伝達装置

◆障がい児

これら12種目に加え、座位保持椅子、起立保持具、頭部保持具、排便補助具

◆補装具の修理・再支給について

原則、補装具の耐用年数をこえてから再支給が可能となります。

しかし、通常の装用状態で修理不能となった場合、耐用年数内であっても再支給が可能となります。

◆利用者自己負担等

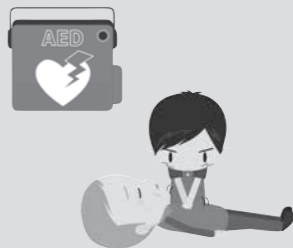
申請者の自己負担額は原則1割負担となります。なお、支給を受ける際には、所得に応じた利用者負担があります。

◆申請方法

規定の申請書、医師の意見書(新規購入時のみ)、当該装具の見積書、身体障害者手帳を保健福祉課福祉係に提出してください。

清水消防署
からのお知らせ!

宝くじの助成事業で
応急手当普及資機材を
整備しました!



宝くじの助成金による
応急手当普及資機材の整備

清水町清水消防団・御影消防団(以下両消防団という)では、宝くじの社会貢献広報事業のひとつである消防団育成助成事業に応募申請したところ、日頃の消防団活動が評価され助成団体として選出されました。

この消防団育成助成事業は、地域防災のリーダーである消防団の装備拡充や消防団活動に対し地域住民から積極的な協力を得るために必要となる設備等の整備に関する事業が助成対象とされています。

両消防団ではこの宝くじの助成を受けて、応急手当普及資機材(心肺蘇生訓練用的人形3体、AEDトリーナー2台、スキルガイド1台)を整備いたしました。

今後は各消防団員自らの応急手当の技術向上はもとより、消防職員とともに、町民に対する応急手当の技術指導にあたる人材育成に努め、地域における応急手当の普及啓発活動により一層尽力して、救命率向上を目指して活用いたします。

発酵食品をとろう

大津 愛子 栄養士



皆さんは毎日の食事に発酵食品を取り入れてますか？

発酵とは、「カビ」「酵母」「細菌」の3つの微生物の働きによって物質が分解されることをいいます。

「カビ」は、麹菌などのこと。しょうゆ、酢などの調味料をつくる時に必要です。「酵母」はワインやビールをつくる時に利用され、「細菌」は乳酸菌などのことをいい、ヨーグルトをつくる時に欠かせません。発酵食品は私たちの身体に様々な効果をもたらしてくれます。

〜発酵食品の代表的な効果〜

- ①便秘改善
ヨーグルトなどは腸内の善玉菌を増やし、腸内環境を整える働きがあります。
- ②疲労回復
酢に含まれるクエン酸は疲労物質を分解する働きがあり、ぬか漬や塩麹などはビタミンB群を多く含むため、体内で効率よくエネルギーに変化します。
- ③消化促進
たんぱく質やでんぷんなどが微生物によって分解され、消化され

〜発酵食品を取り入れるコツ〜

- ①毎日少量ずつ取り入れる
特に、整腸作用をもつ乳酸菌は短期間で体から排出されるため、ヨーグルトなどは毎日とることが大切です。
- ②発酵食品同士を組み合わせる
乳酸菌を含むキムチと食物繊維が豊富な納豆などの発酵食品を組み合わせると相乗効果で整腸作用の効果がより発揮されます。
- ④栄養価アップ
発酵される過程のなかで、ビタミン、ミネラルなどが増え、栄養価がアップします。

〜発酵食品の魅力〜

発酵食品は健康に作用する以外に、おいしさもつくり出します。例えば、甘酒は麹によりお米が分解されてつくられますが、自然な甘さがつまみ、おいしく変化していきます。発酵食品のとりすぎは、塩分過多などを招きますが、上手に活用し毎日の食卓に取り入れてみてはいかがでしょうか。

はみず教育の四季

冬～厳しさに生きる 人の中で 共に磨く
冬休み中も進んで学びに取り組む子どもたち

子どもたちは、学習・生活の「めあて」を立て、「課題」をもって冬休みに入りました。その冬休み中に行われた「ふれあい子ども学びサポート教室〈全3回〉」（清水小学校）に1～6年生の子どもたちが参加しました。各自が学習プリント等の課題をもって参加し、苦手な学習の克服や課題解決に取り組みました。真剣に学ぶ子どもの姿から、学びへの意欲や学びの習慣が身に付いてきていることがわかりました。子ども自身、「わかること、できること」の楽しさや「学習すること」の大切さを一層実感することができたものと思います。



子どもたちの「わからない」に寄り添いサポートする先生たち

社会教育関係団体紹介

●清水町卓球友の会●



当会は、2009年に創立し、現在は男性10名、女性6名が在籍しています。日頃の運動不足解消のために、ダブルス形式で2ゲームを競い合う方法で、キャーキャーワイワイと楽しく練習をしています。日中に仕事が入っていないく、卓球経験のある方や初心者の方も大歓迎です。新型コロナウイルス感染症が心配される中ではありますが、練習を見てみたい方は是非ともお越しください。

- 活動日時：毎週月・水・金曜日 13:30～15:00
- 活動場所：町体育館第2競技場
- お問い合わせ：佐藤 (Tel. 62-4054)

図書館だより

毎月19日はしみず読書の日

『本の福袋』中身大公開！

新年企画として1月に実施した「本の福袋」の中に入っていた本を3月に展示・貸出します。福袋に詰まっていた司書厳選の本をこの機会にぜひ、ご覧ください！



新着図書からピックアップ

- 『ねこはるすばん』 町田尚子著／ほるぷ出版
窓の外をじっと見ている留守番の猫が「人間、出かけて行った。」と呟きます。そして、タンスの中にするりと入り込むと、そこは別の世界につながっていて…。猫は二本足で歩きまわり、本屋に行ったり、パッティングセンターで遊んだりと思う存分自分の時間を満喫します。もしかしてウチの猫も…と留守番中の猫の様子が気になってくる絵本です。
- 『みがわり』 青山七恵著／幻冬舎
- 『もしかしてひょっとして』 大崎梢著／光文社
- 『とわの庭』 小川糸著／新潮社
- 『善医の罪』 久坂部羊著／文藝春秋
- 『絶局 本能寺異聞』 坂岡真著／小学館
- 『いつの空にも星が出ていた』 佐藤多佳子著／講談社
- 『コーチ』 堂場瞬一著／東京創元社
- 『湖の女たち』 吉田修一著／新潮社
- 『敏感すぎる心がスーツとラクになる本』 長沼睦雄監修／扶桑社
- 『ざんねんな筋トレ図鑑 いくらやっても意味がない』 小島央著／マキノ出版

発表！2020年ベストリーディング！

例年より家にいる時間が増えた2020年、皆さんはどんな本を読みましたか？世間では、大正時代を舞台にした漫画『鬼滅（きめつ）の刃』が大ブームを巻き起こし、図書館でも小説版について多くの問い合わせがありました。さらに、直木賞や本屋大賞の受賞作の人気も高く、貸出し数ベスト10のうち9冊が受賞作品という結果になりました。はたして、今年はどんな作品が人気になるでしょうか。皆さんが図書館で素敵な本に出会えますように。

第1位

『少年と犬』 馳星周著／文藝春秋



家族の為に犯罪に手を染めた男、恋人にお金を無心される女など事情を抱えた人々と一匹の犬の交流を描いた連作短編集。第163回直木賞受賞作で、作者が北海道出身であることも注目を集めました。

第2位

『流浪の月』 風良ゆう著／東京創元社



不遇の少女時代を過ごした更紗は、当時優しくしてくれた人を大人になっても忘れられないでいた。でも、その会いたいと切望する人と彼女の関係は世間には理解されないもので…。2020年本屋大賞受賞作です。

第3位

『老人初心者の覚悟』 阿川佐和子著／中央公論新社



テレビ番組『サワコの朝』など、インタビューとして活躍している著者によるエッセイ集。「今どきの言葉についていけない。」「体に変化が…。」と老化の兆しにうろたえながらも朗らかに過ごす日々が綴られています。

学習情報



第4位～第10位

はこちら！

- 4位『熱源』 川越宗一著／文藝春秋
- 5位『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』 ブレイディみかこ著／新潮社
- 6位『ライオンのおやつ』 小川糸著／ポプラ社
- 7位『ノースライト』 横山秀夫著／新潮社
- 8位『夏物語』 川上未映子著／文藝春秋
// 『クスノキの番人』 東野圭吾著／実業之日本社
- 10位『まち』 小野寺史宣著／祥伝社
// 『線は、僕を描く』 砥上裕裕著／講談社
// 『medium 霊媒探偵城塚翡翠』 相沢沙呼著／講談社
// 『抵抗都市』 佐々木譲著／集英社
// 『店長がバカすぎて』 早見和真著／角川春樹事務所
// 『ノラネコぐんだんカレーライス』 工藤ノリコ著／白泉社

児童書から pick up!!



児童書から唯一ベスト10入りした人気シリーズの絵本です。おいしそうな匂い漂うカレー屋さんの様子をそっと伺うノラネコ達。夜にカレー屋さんさんに忍び込んでカレーを作っているとそこに虎が現れて!?

「十勝清水郷土史研究会」監修 清水歴史探訪【5】 『洪沢栄一と清水町』 ⑤ 小田農場長宅での食事

洪沢栄一は、日記で滞在中の食事について全く触れていませんが、随行の思い出で植村澄二郎は次のように語っています。

「よく十勝の開墾会社を訪れ、農場長の宿舎に宿りれることになったのだが、何分にも不慣れた地方のこととて、差し当り困ったのは食べ物のことであった。それで農場ではわざわざ帯広から料理人を呼び寄せたりなぞして、出来るだけ手厚く歓迎しようとしたのだが、ところがそれが甚だ先生のお気に入らない。「こんな心尽くしをしてくれるよりも、是非農場の産物でもって、この辺の農家で常用する通りの食べ物を食べたい」と云って肯かれない。」

「(中略)農場の方でもちむを得ず、その通りの食べ物をごしらせることになったのだが、それが粟と馬鈴薯とで作った団子のようなものか、又

は南瓜と馬鈴薯と、そこへ米を混ぜた粥で、随行の人達は随分弱って居たようだったが、先生は至って満足そうに、大いにそれを褒められた。」

食事については、愛子もまた8月24日の日記に「小田氏の夫人、枝豆・玉蜀黍など御馳走下され又稲きびという穀物をもち来らる、そは此の農場の小作人の常食に用いるものなりとぞ、小さくポロポロしたるきびにて、赤く大いなる豆と共に炊けるなり、父上・兄上など『味よし』とて召せど、このみを食べる人の身にては、いかばかり不味にして飽くべきなと思へば気の毒に堪へず。」と書き留め、質素な食の毎を送っている人々の暮つしに思いを馳せています。

愛子の日記では、滞在中に見聞きた農場の様子や、アイヌの人たちの化粧や衣装、熊まつりなどについても、細やかに綴られています。



愛子の日記も掲載されている「洪沢栄一伝記資料」

・文責 草野和好
（十勝清水郷土史研究会）

インフォメーション

誕生 佐々木 芯羽 ちゃん (忠光 / 千裕)

哀悼 川部 守 神居
青山 寛 神居
櫻井 実 熊牛更生
佐藤 俊夫 中羽帯
海野 政美 本通3
中村 利子 下佐幌平成
早川 信幸 北1条
三田 哲郎 竹葉
佐藤 一夫 若松
佐々木 澄代 本通5
千石 二三 桂町
五十嵐 テツ子 本通3
長尾 つる子 日の出3

こんにちは 広報で二夕一です

です

- ★表紙、御影のイルミネーションのきれいな景色に心がほっとした。
- ★フォトアルバム、昨年は行事が少なかつたなと実感。今年は楽しい写真で埋まりますように。
- ★特集で子どもたちの明るい表情と言葉が良かった。
- ★子どもたちの明るい笑顔と前向きな目標に元気をもらえた。写真も文字も見やすくて良かった。
- ★丑年生まれの大人の紹介があっても良かったのかも。前もって広報紙面で募集するのはどうか。
- ★新型コロナウイルスの役場職員の集団感染について、適切な対応をしていたと思う。自信を持ってほしい。
- ★町民からの質問にわかりやすく回答していただろう。
- ★日赤院長の「協力と前進」の言葉が強く心に残った。
- ★換気や消毒の回数を増やしたとのことだが、何回を

- 何回にしたのかなど具体的な対応が知りたかった。
- ★ゆうえるで「社会教育計画」という言葉が文章量に対して多く使われすぎているように感じた。
- ★インフォメーションのコーナーで、住民票等を電話予約で受け取れることを知った。可能であれば他のものにも対応してほしいし、電話予約だけではなくメールでの受け付けもお願いしたい。そのほうが業務が簡略化されるのではないか。
- ★じょうほう瓦版の村上さんの記事、2月の図書館工事中ホールでの絵画展が楽しみ。
- ★「冬を元気に過す」ツツの健康関連の記事はわかりやすい内容だった。今後いろいろな知恵を教えてください。
- ★レシピはカラーで彩りも伝わった。感染症予防のため、手洗い、加湿と食生活の見直しで、丈夫な体づくりをしたいと思った。
- ★このような時期なので、少しでも町内の明るい話題を広報紙で取り上げていただきたい。

「HELLO BABY」は、6か月から2歳くらいの赤ちゃんを掲載しています。希望される方は広報広聴係までお気軽にどうぞ。写真はメールでも受け付けています！
mail:koho1@town.shimizu.hokkaido.jp

HELLO BABY



小林 依音 ちゃん

お姉ちゃんと仲良く遊んでね！



小松 樹生 ちゃん

すくすく育ててね！

ちようみん作品展

短歌の寄稿がありましたので、紹介します。

短歌

- テレビ電話曾孫は手をふり上機嫌 遠き「愛媛」の茶の間が見える 森山ヤヨイ
- お茶碗を求めて可笑しき絵は「ふくろう」 福文字並び食の進みぬ 田村徳子
- 初雪に庭の花々白化粧 想い出は多し十勝野にありて 宗像三郎
- さつと降る雨には虹のお負けあり 「おはよう」に会い歩きつづける 大石 尚
- いと子より例年のごと届く柿に 文字の乱れは病める身とあり 藤原静子
- 碧き空青き海なりその中で はびこるコロナに負けてはならぬ 村谷三恵
- 銚口を向けられし如コロナ禍の 催し入口の検温のさま 橋本佳代子
- 「カラフト」ゆ引き揚げて来し友のコロナ禍を いつくに老いて如何に暮さむ 坂下洋子

トピックス & じょうほう瓦版

1/19 清水高校が幼稚園に木のおもちゃなどを寄贈



1月19日、清水高校（生産技術系列産業分野）から清水幼稚園に手づくりのおもちゃ等が寄贈されました。同分野の生徒たちは以前から幼稚園と交流があり、毎年技能を活かして幼稚園におもちゃ等を寄贈しています。今年も木製のおまますご用キッチンと乗り物のおもちゃ、おもちゃを入れる棚を製作。園児たちは「乗り物のおもちゃに乗って遊びたい！」と喜んでいました。

1/14~29 図書館開館30周年記念事業でバルーンショーを開催



図書館開館30周年記念事業「絵本がとびだす！バルーンショー」を、1月14日（しみず保育所）、22日（御影こども園）、29日（清水幼稚園）に開催しました。図書館司書が絵本の読み聞かせをした後に、バルーンアーティストのミリーさんによるバルーンショーの公演が行われ、絵本に出てくるキャラクターなどが風船でつくりだされると、子どもたちから「かわいい！」と歓声があがっていました。

TOWN EVENT 2/16 ~ 3/15

CALENDAR

人口 9,290人 (-15)
男 4,591人 (-9) 女 4,699人 (-6)
世帯数 4,726 (-5)
令和3年1月末現在()は前月比

2/16	火	■清水絵手紙ななかまどの会「四季折々の絵手紙展」～3月10日まで（文セ9時）	3/1	月	■エントランスホール展「開館30周年記念 定岡武夫油彩画展 思い出の風景」～29日まで（図書10時）
17	水		2	火	
18	木	■運転免許更新時講習（文セ優良13時30分、一般14時30分、違反16時）	3	水	
19	金		4	木	
20	土	■出張おはなし会（老人福祉センター 13時30分）	5	金	
21	日	■チャレンジ・ザ・ゲーム講習会（御影公民館 10時）	6	土	■出張おはなし会（老人福祉センター 13時30分）
22	月		7	日	
23	火		8	月	■町民と町長のふれあいトーク（役場9時）
24	水		9	火	
25	木		10	水	■十勝開墾合資会社と渋沢栄一口ビー展～28日まで（文セ9時）
26	金		11	木	
27	土	■おはなし会（図書11時30分）	12	金	
28	日		13	土	
			14	日	
			15	月	

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、行事が中止・延期になる可能性がありますので、ご了承願います。

役場=清水町役場 文セ=文化センター 御支=御影支所 保セ=保健福祉センター 図書=図書館
ハモ=ハーモニープラザ 町体=清水町体育館 アリ=アイスアリーナ 改善=改善センター
消防=清水消防署 し保=しみず保育所 御こ=御影こども園 幼稚=幼稚園
清小=清水小学校 御小=御影小学校 清中=清水中学校 御中=御影中学校

-コロナ禍でも子どもたちを笑顔に- 図書館のお話会で絵本の読み聞かせを開催



-新型コロナウイルス対策に- 東日本テクノ(株)から50万円が寄附され、感謝状を贈呈



図書館エントランスホール展「清水町書道協会会員作品展」を開催



-やさしい音色のハーモニーを奏でる- 清水ジュニアプラスバンドが定期演奏会を開催



書写ボランティアが御影小学校6年生の書写(条幅)授業を支援



牛乳消費拡大キャンペーン特賞に角田和夫さんが当選、乳製品とハーモニーカード商品券を贈呈



町長のフェイスブック「阿部一男」で検索！



町長の日記
今日はすごいご馳走を食べた。
地元スロウフード(株)が共同開発した製品で、十勝で初めてJAXAから「宇宙日本食」に認定されたハンバーグだ。2018年から協同開発が進められ、わずか3年という異例の早さで認証を獲得したとのこと。
一般向けにも販売され、現在品切れになっているこのハンバーグは、パッケージ等をリニューアルした後に再販するようだ。
飛び上がるほど美味しいハンバーグに乞うご期待！
(2月1日の日記より)

あとがき
■特集「清水高校のススメ」は本来であれば12月号に掲載する予定でしたが、コロナの関係で今月号になってしまいました。取材・記事作成・レイアウト原案を手がけてくれた生徒の皆さん、そして表紙のモデルを引き受けてくれた中野さん、ありがとうございました。高校卒業後も皆さんの活躍に期待しています！
(下保)

■先日、清水ジュニアプラスバンドの皆さんの定期演奏会を取材。子どもたちが一生懸命楽器を演奏している様子を見ていて、自分も心の中で「頑張れっ！」と応援していました！これからも素敵な演奏会を楽しみにしています。
■皆さんはプレミアム付商品券をどのようにお使いでしょうか？自分分は食べるのが大好きなので、どんどん美味しい物を食べていきたいと思っています！当分の間、体重計には乗りません。(中澤)

とちまちマルシェ料理甲子園で清水高校が2連覇達成 自身の成長のため 調理に対して日々挑戦!

昨年11月、全国の高校から34のチームが出場し、書類選考により選ばれた11チームで開催された「とちまちマルシェ料理甲子園2020」。見事優勝を獲得した清水高校チームの渡部さん、安保さん、鎌田さんにお話を伺いました。



ほのか 安保穂乃華さん、ゆな 渡部優菜さん、けいち 鎌田恵一さん
清水高等学校生産技術系列（食品分野）2年

や見た目の変化など楽しく食べてもらえるように、焼き加減など何度も試行錯誤しながら作りました。

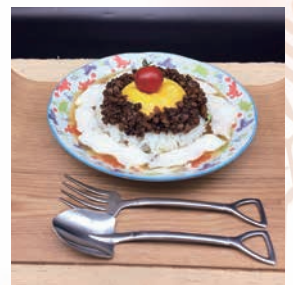
作品のコンセプトを尋ねると、「現在、全国的にコロナ禍で家にいる時間が多い中、家にいる時間を楽しく過ごすきっかけになれば良いな」と思い、見た目も楽しく、親子で一緒に簡単にできる料理を作れたらと考え、3人で協力して完成させました。」と、作品への想いを力強く話してくれました。

調理への工夫や過程について伺うと、「食べる人が食感

また、食材には清水町産の黒にんにくを使っていますが、子どもでも抵抗無く食べることができるよう細かく刻み、肉味噌に混ぜるこ

とで味にコクと風味を足し、子どもから大人まで美味しく食べることができると付けに仕上げました。本番では味も調理過程も今までで一番の出来で、審査員の皆さんからも高評価を受けることができ、とても嬉しかったです。」と当時の喜びが皆さんの表情から感じられました。

3年生になってからの目標を尋ねると、「新たな科目として『食品製造b』に取り組みることになります。現在は数人でレシピの考案など課題に取り組んでいましたが、これを一人で取り組むことになります。今まで先輩方が苦労している様子を見てきたこともあり、自分たちができるのかという不安や、後輩の手下になることができるのかなど、プレッシャーに感じる部分も多々ありますが、自分自身の成長につなげるために今よりもっと頑張っていきたいです。」と学ぶことへの貪欲な姿勢が伺えました。



優勝を獲得した「十勝を発掘!! わくわくごはん」

学校や自宅で試作を繰り返し、多くの人からアドバイスをもらいながら作品を完成させ、とちまちマルシェ料理甲子園で見事優勝!



最後に、「今回のコンテストでは、先生にアドバイスをもらいながら、反省・改善・試作のサイクルを繰り返して作品を完成させました。この体験と得た知識を活かしながら、より多くの調理技術を身に付けたいと思います。また、新しいことに意欲を持って挑戦し、最後には自分自身が納得できるものをつくれるようになったと思います。」と今後の意気込みを話してくれました。